

島根創生を進めるための令和2年度新規・拡充施策の進捗状況（8月末時点）

事業の進捗状況の分類

A 概ね順調

〔24事業、43%〕

- コロナの影響は、ほとんどなく概ね予定どおり進捗しているもの

B コロナにより進捗に影響が生じているが、影響が限定的なもの

〔16事業、28%〕

- 年間を通じた事業進捗への影響は限定的と見込まれるが、一部の事業に何らかの影響が生じているもの
- イベントのオンライン実施など手法の工夫等により、対象者が限定されるなどの事業もあるが、実際に行う取組自体については、年度内に遅れを取り戻せる見込みのもの

C コロナにより進捗に影響が生じており、影響が限定的とは言えないもの

〔15事業、27%〕

- 年度を通じた事業進捗への影響が、ある程度見込まれるもの
- 着手の遅れ、事業の一部中止等により、年度内に遅れを取り戻すことが困難であると見込まれるもの

D 中止

〔1事業、2%〕

- 新型コロナ対策のため県外との往来が控えられの中で、令和3年度へ執行を繰り延べたもの
(該当は「商業・サービス業県外展開支援事業」のみ)

目次

No.	事業名	進捗 区分	ページ 番号	No.	事業名	進捗 区分	ページ 番号
1	水田園芸拠点づくり事業	A	1	29	放課後児童クラブ支援事業	B	9
2	産地創生事業	A	1	30	子ども医療費助成制度	A	9
3	多様な担い手確保育成事業	B	1	31	みんなで子育て応援事業（こころパスポートのデジタル化）	A	10
4	集落営農体制強化スピードアップ事業（担い手不在地域の組織化等支援）	B	1	32	結婚・出産・子育ての切れ目ない支援事業（「島根みんなで子育て応援賞」等）	A	10
5	農林大学校再編拡充事業	A	2	33	しまね長寿・子育て安心住宅リフォーム助成事業	A	10
6	簡易・小規模なほ場整備の促進	B	2	34	中山間地域総合対策推進事業（「小さな拠点づくり」モデル地区推進事業）	C	11
7	放牧再生支援事業	A	2	35	中山間地域総合対策推進事業（スモール・ビジネスの推進）	A	11
8	種雄牛造成強化事業	A	2	36	県産木材利用促進事業	B	11
9	しまね和牛生産振興事業	A	2	37	浜田港の機能拡充	A	12
10	製材力強化事業	A	2	38	教育魅力化人づくり推進事業	A	13
11	意欲と能力のある林業経営者育成・就業者確保総合対策事業	B	3	39	県内就職に向けた県内大学等との連携事業	C	13
12	しまねの漁業担い手づくり事業	B	3	40	私立学校生徒確保事業	A	13
13	先端金属素材グローバル拠点創出事業	B	4	41	ふるさと島根定住推進事業（東京拠点の機能強化、短期就業体験の提供）	C	14
14	石州瓦産業経営基盤強化支援事業	C	4	42	若年者雇用対策事業	B	14
15	しまねIT産業振興事業	B	5	43	しまねの魅力広報事業	C	15
16	“美肌県しまね”観光総合対策事業	C	5	44	しまね女性活躍推進事業	B	16
17	海外展開促進支援事業	A	5	45	仕事と子育て両立支援事業（育児手帳、家事手帳）	B	16
18	商業・サービス業県外展開支援事業	D	6	46	男性のための介護のミニ講座	C	17
19	企業誘致のための各種助成事業（地元企業に対する企業立地促進助成金要件緩和）	A	6	47	仕事と子育ての両立環境促進事業（子育てしやすい職場づくり奨励金）	C	17
20	県・市町村共同工業団地整備事業	C	6	48	高齢者・女性の雇用・就業促進事業（女性就労ワンストップ支援体制整備事業）	B	17
21	市町村の遊休施設を活用した貸オフィス・貸工場整備支援事業	A	6	49	地域医療を支える医師確保養成対策事業	B	18
22	企業誘致活動と情報収集事務（中山間地域等に特化した専任職員配置）	B	6	50	しまね健康寿命延伸プロジェクト事業	C	18
23	しまねの建設担い手確保・育成事業	C	7	51	くにびき学園運営事業	A	19
24	結婚支援事業	C	8	52	発達障がい者支援体制整備事業	C	19
25	不妊治療支援事業	A	8	53	子どもと家庭の相談事業（学校等連絡支援員の配置）	A	19
26	しまね産前・産後安心サポート事業	C	8	54	インクルーシブ教育システム構築事業（盲学校幼稚部設置準備事業）	A	20
27	保育士の確保・定着支援事業	C	9	55	外国人の受入れ・共生事業	A	20
28	待機児童ゼロ化事業	A	9	56	震災・風水害等災害対策事業（防災士資格の取得支援）	B	21

島根創生を進めるための新規・拡充施策の進捗状況（令和2年度8月時点）

I 活力ある産業をつくる

1 魅力ある農林水産業づくり

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
1	水田園芸拠点づくり事業	水田を活用した園芸の産地化を加速するため、新たに水田園芸に取り組む農業者への支援や拠点産地の計画づくりから本格的な取組までを支援	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進6品目それぞれで産出額10億円の達成を見据え、県全域で拠点産地の形成を働きかけ ・今年度新たに9産地で産地拠点化が進行中（令和元年度5産地） <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点の核となる集落営農組織や認定農業者等を中心に意欲ある農業者・地域の掘り起こしを更に強化
2	産地創生事業	地域の資源や強みを活かした、特色ある産地を育成するため、生産・販売の拡大や、新たな担い手が安定的に加わるようマーケットインの考え方による6次産業化、スマート農業、労働力確保、輸出等のモデル性を持った産地構想の策定やその構想に基づく取組を集中的に支援	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の活用を見据えて、20産地で構想策定に着手 ・4件の構想を採択 大田市（和牛）、邑南町（ブドウ（神紅）） 隠岐圏域（産地地消（水田園芸））、海士町（いわがき） <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未採択の構想について、構想のブラッシュアップに協力し、適時採択
3	多様な担い手確保育成事業	農業の担い手を確保・育成するため、自営や雇用就農の確保・育成対策を総合的に展開	B	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県版農業人材投資事業 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により、市町村や集落等へ直接説明する機会が持てなかったが、50歳以上の自営就農を目指す者に対する県独自支援がある旨をオンライン就農相談会等で周知・PR 2 地域農業人材育成支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・1と同様にコロナの影響を受けたが、県内の集落営農法人257法人に事業概要資料を送付し、44組織に詳細を説明 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県版農業人材投資事業 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き周知・PRを実施し、他県と差別化した担い手確保を展開 2 地域農業人材育成支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・県内すべての担い手不在集落（1,070集落）へ事業概要資料を送付するとともに、JA広報誌等を活用してPRを強化
4	集落営農体制強化スピードアップ事業（担い手不在地域の組織化等支援）	中山間地域をはじめとする農地の維持と経営基盤の強化を図るため、集落営農の組織化、法人化、広域連携による経営の継続及び効率化の取組を推進	B	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手不在集落9地区において基盤整備とセットとなった共同利用機械導入を検討中 ・コロナの影響により、市町村や集落等へ直接説明する機会が持てず、事業の周知・PRが遅れた。 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内すべての担い手不在集落（1,070集落）へ事業概要資料を送付するとともに、JA広報誌等を活用してPRを強化（上欄No.3と一体的に推進）

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
5	農林大学校再編拡充事業	農業・林業における担い手を確保・育成するため、令和2年度から農林大学校の教育内容を充実するとともに、入学定員を増員することに伴い必要となる施設等の整備を実施	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度入学生 <ul style="list-style-type: none"> 農業科（2年制） 32名（定員40名） 短期農業経営養成科（1年制） 7名（定員5名） 林業科（2年制） 8名（定員20名） 10月入学の1年コースの入学生を募集中 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度入学生の確保に向けて募集活動を実施
6	簡易・小規模なほ場整備の促進	担い手不在集落において担い手を確保するため、区画整理、暗渠排水等を実施し耕作条件の改善を支援	B	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手不在集落9地区において共同利用機械の導入とセットとなった基盤整備を検討中 コロナの影響により、市町村や集落等へ直接説明する機会が持てず、事業の周知・PRが遅れた。 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内すべての担い手不在集落（1,070集落）へ事業概要資料を送付するとともに、J A広報誌等を活用してPRを強化（上欄No.3、4と一体的に推進）
7	放牧再生支援事業	畜産の担い手確保及び特徴ある子牛や畜産物の生産を拡大するため、公共放牧場等の再整備や放牧を活用した畜産物生産の取組を支援	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3市町（※）において、放牧場の再整備（牧柵整備、雑灌木除去等）や適正管理の仕組みづくり（放牧場区分ごとの管理計画策定等）に着手 ※大田市、西ノ島町、知夫村 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放牧場の適正管理の仕組みづくり等に対して、技術的な助言等を実施
8	種雄牛造成強化事業	超優秀雌牛の導入や先端技術であるゲノミック評価（遺伝子解析技術による評価）の活用により、市場価格をリードするスーパー種雄牛を造成	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 超優秀雌牛の導入について、県外の情報を入手できる大型農場（10戸）などと検討を開始 また、ゲノミック評価技術を活用して、県内繁殖雌牛から超高能力雌牛を選抜中 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型農場等と連携した種雄牛造成を引き続き推進
9	しまね和牛生産振興事業	子牛価格や枝肉成績を主要産地レベルまで向上させることにより、肉用牛の生産拡大を推進	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 繁殖雌牛の世代交代を図るため、中核的な担い手繁殖農家等を中心に高齢牛（11～12歳）を高能力な若い雌牛への更新を進め、279頭を支援対象に決定 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業導入による直接的、間接的な効果を検証し、より効果的な事業展開を検討
10	製材力強化事業	地域ごとに原木の生産・流通・加工をネットワーク化するウッドコンビナートの基盤整備を支援	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 製材工場の新設・規模拡大に向けて、 <ol style="list-style-type: none"> ①県内全域で原木流通量調査を実施中 ②立地候補地13箇所を選定 ③①、②の内容を踏まえ、新設に意欲的な県内2工場と事業活用について調整中 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度中に1箇所以上の工場新設を決定すべく、活動を継続

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
11	意欲と能力のある林業経営者育成・就業者確保総合対策事業	「意欲と能力のある林業経営者」の育成・強化及び林業就業者の確保を推進するため、総合的な対策を実施	B	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業後に必要な資格取得経費支援として23人（13事業体）の新規就業者の支援を決定 ・5林業事業体（6人）が実施するOJT研修（林業機械の操作訓練など）を支援 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、講習会等が受講できなかった新規就業者への対応を検討
12	しまねの漁業担い手づくり事業	漁業の担い手を確保・育成するため、研修、自立、所得向上の各種施策を総合的に推進	B	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就業者に対する自営漁業者自立給付金制度（新規）の給付については、3人の支援を内定 ・水産物の販売戦略策定や有用水産資源の増殖等の所得向上に向けた取組を3グループで検討中 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市部の就業希望者を対象にした就業者フェアが中止となり、Web方式に切り替えて対応 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと島根定住財団や定置網の経営体と連携し、新規就業につながる研修生を確保する取組を強化

2 力強い地域産業づくり

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
13	先端金属素材グローバル拠点創出事業	特殊鋼などの素材分野での強みを活かし、きらりと光る地方大学づくりと若者の雇用機会の創出を進めるため、国の交付金を活用し、航空機産業及びモーター産業での新たな事業の創出に向けた最先端研究の推進と高度専門人材の育成を、産学官が連携して実施	B	<p>【現状】</p> <p>島根大学が取り組む以下の事業を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代たたら協創センター棟の建設及び研究設備の調達 ・新任研究者の採用済み（3名） ・航空機用超耐熱合金の製品化及び高効率モーターの開発に向けた研究の継続 ・大学院生向け副専攻プログラムの開設 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根大学ー松江高専での単位互換制度→前期中止 ・Oxford大学への研究員派遣→中止 ・Oxford大学教員による講義→オンライン実施 ・連携先の大学や県外企業の閉鎖、受入れ休止による研究の遅延 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代たたら協創センターの竣工（12月末予定）、供用開始（3月予定） ・航空機用超耐熱合金の製品化及び高効率モーターの開発に向けた研究の継続 ・Oxford大学教員による大学院生向け科目の新設 ・松江高専との単位互換の再開
14	石州瓦産業経営基盤強化支援事業	石州瓦産業の振興を図るため、経営力・生産力・販売力の強化を支援	C	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 石州瓦利用促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・工務店等向け制度を創設し、36社42件を交付決定済（8/25時点） <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県を跨いだ移動制限や営業先での受入拒否により制度PRに支障が生じており、補助制度の利用が進んでいない。 <ol style="list-style-type: none"> 2 新屋根材開発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業等との共同研究契約締結に向け、産業技術センターが中心となって、屋根材の材料探索等の基礎試験、県内企業を交えた屋根材のデザイン案の検討などを継続して実施中 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同研究契約の内容調整や県外調査の調整などにおいて、事業に遅れを及ぼしている。 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 石州瓦利用促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを他産地や他屋根材へ移行しているハウスメーカー等に広げ、案内を重点的に行う。 2 新屋根材開発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・産業技術センターと県内企業等との共同研究契約を9月中旬に締結予定

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
15	しまね I T 産業振興事業	県外市場から多くの売上を獲得し、若年層の雇用を創出する産業として持続的な発展を目指し、人材育成・確保及び高付加価値な業態への転換を支援	B	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> データ活用型自社サービス創出支援助成金 <ul style="list-style-type: none"> 活用に向けて企業へのPR・掘り起こしを実施中 人材育成確保強化支援事業 <ul style="list-style-type: none"> コロナの影響により、ワークショップをリモート実施に変更し開催 地域 I T 人材育成強化支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 連続講座を7/25-12/19（全12回）で実施中 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ol style="list-style-type: none"> データ活用型自社サービス創出支援助成金 <ul style="list-style-type: none"> 2件の採択を予定 人材育成確保強化支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 9/14-16で開催。併せて県内 I T 企業との交流機会を検討中 地域 I T 人材育成強化支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 8名のビジネスプラン作成を支援中
16	“美肌県しまね”観光総合対策事業	“ご縁”に続く新たなアピールポイントとして、“美肌”をキーワードに、幅広い年代の女性をターゲットとした「美肌観光」を推進	C	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 美肌観光をテーマとする旅行商品開発の補助（採択1件）、美肌をテーマとしたイベント支援（採択1件） 美肌モデルプラン造成に取り組む地域への専門家派遣（1件） 美肌レシピとスキンケアの動画を制作しyoutubeで公開し、「美肌ごはん」インスタグラムキャンペーンを同時開催 観光ポータルサイト「しまね観光ナビ」にて、県内の観光地・食などの美肌コンテンツを集約した特設ページを制作・公開 美肌観光に取り組む事業者をソフト・ハードの両面で支援する補助事業を創設し、6月に募集（採択3件） 旅行会社と連携し、山陽をターゲットとした誘客プロモーションを7月から実施 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> 観光情報説明会を中止（オンラインでの実施を検討） 首都圏向け「美肌県しまね」プロモーションの開始を延期（8月公募） <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬季の誘客プロモーションとして、「温泉」と「食」を中心とした美肌観光の旅行商品造成を実施 関西・山陽をターゲットとし、旅行会社と連携した感染症対策を講じた新様式のツアーを造成 「美肌県しまね」のイメージ定着のため、県内の主要駅・空港へ「美肌県しまね」ロゴ看板等を設置 首都圏向け「美肌県しまね」プロモーションを展開
17	海外展開促進支援事業	海外取引に意欲のある県内企業の自主的な取組を支援	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非日系市場販路開拓事業で実施する輸出人材育成集中講座に6社から応募があり全て採択した。 商品認知度向上事業は12社12商品を選定し米国サイトに掲載するための商品紹介情報収集 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非日系市場販路開拓事業は9月以降に輸出人材育成集中講座、個別相談を実施 認知度向上事業は商品の取材、記事作成の後、米国サイトに掲載

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
18	商業・サービス業県外展開支援事業	商業・サービス業の事業者が、県内事業所の雇用の維持・拡大や付加価値の向上を図るため、県外の大消費地など新たな市場の開拓を目指す取組を支援	D	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対策のため県外との往来が控えられる中で、執行を繰り延べている（R3年度へ）。 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響を踏まえて支援手法が適切かどうか検討しながら、R3年度の事業実施に向け準備を進める。
19	企業誘致のための各種助成事業（地元企業に対する企業立地促進助成金要件緩和）	県内既存工場・事業所の増設や県外からの新規誘致を推進するため、各種助成等により企業の初期投資等を軽減するとともに、中山間地域等における企業立地を推進するため、市町村の取組を支援	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3～4月 市町村や商工団体へ周知するとともに、県ホームページにより制度を周知 ・5月 県立地認定企業へ制度を周知 ・コロナ禍の状況を確認しながら、地元企業等に対して、投資計画を聞き取り、計画の作成をサポートするなど、企業立地計画の認定に向けた支援を実施 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、コロナ禍の状況を確認しながら、地元企業等に対して、投資計画を聞き取り、計画の作成をサポートするなど、企業立地計画の認定に向けた支援を実施
20	県・市町村共同工業団地整備事業	中山間地域等の産業振興を図るため、県と市町村が共同して工業団地を整備	C	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年3月 市町村へ事業概要を周知 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染予防対策などを踏まえた市町村の当該事業の実施体制を考慮し、事業公募の実施を延期 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況を確認しながら、公募開始時期や公募期間を検討
21	市町村の遊休施設を活用した貸オフィス・貸工場整備支援事業	中山間地域等における企業立地を推進するため、所有する遊休施設を貸オフィス・貸工場として整備する市町村を支援	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に制度を創設し、市町村へ周知 ・5月より、市町村に対して、活用可能な遊休施設の候補物件について情報収集を開始 ・現在11件の物件情報をリスト化 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・候補物件情報の収集は継続して実施 ・作成した候補物件リストを活用し、県内外の企業に対して、企業誘致活動を実施
22	企業誘致活動と情報収集事務（中山間地域等に特化した専任職員配置）	企業の情報収集及び企業訪問活動を行い、企業誘致を推進	B	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に、大都市圏に配置している中山間地域等への誘致活動に特化した専任職員（企業誘致特任員）を増員し、企業誘致体制を強化（2名→4名） <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、対面による企業誘致活動が制限されている中、メールやテレビ電話などWebサービスも活用し、県内の立地環境や優遇制度のPRを実施 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況を確認しながら、企業誘致活動を展開

3 人材の確保・育成

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
23	しまねの建設担い手確保・育成事業	建設産業の担い手を確保・育成するため建設産業団体等が行う就職促進等の取組を支援	C	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 女性活躍推進員の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・年165社の訪問を目標としていたがコロナの影響により、企業訪問活動そのものの自粛や受託先である商工会議所・商工連の持続化給付金等の緊急業務の増加といった影響があり、開始が8月に遅れた。 2 建設人材確保対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・1事業者に対して交付決定済み 3 ICT等建設産業生産性向上事業 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回公募を6月末で締め切り、6事業者に対して交付決定済み。（他に2事業者が申請準備中） <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進員と意見交換をし、これまでの取組状況や進捗状況を踏まえた対応の強化を図る。 ・事業の活用に向け、建設業協会を通じ、再度事業者へ制度周知予定

II 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

1 結婚・出産・子育てへの支援

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
24	結婚支援事業	未婚・晩婚化対策として、縁結びボランティア「はびこ」と連携し、総合的な結婚対策を実施	C	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに3市町（浜田市、安来市、美郷町）にコンピューターマッチングシステム「しまこ」端末を設置 ＜コロナの影響＞ ・しまね縁結びサポートセンター等での「しまこ」登録・閲覧時の感染予防対策の強化、お引き合わせ回数の減、時間短縮を実施 ・リモート登録、リモートお引き合わせを開始 ・首都圏で開催予定の婚活イベント「島コン」はオンラインで実施 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度中に新たに2市（益田市、江津市）への端末設置を予定 ・リモート登録等も継続実施
25	不妊治療支援事業	不妊に悩む夫婦の不妊治療への参加を後押しするため、治療費等の一部を助成	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月より制度拡充実施（第2子以降の助成回数等を拡充）し、申請は現在7件受理 ・コロナの影響により国制度の年齢要件が緩和（上限43歳→44歳）されたことを受け、県事業も同様に緩和 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者に制度内容が行き渡るよう、県民や関係機関への周知に取り組む。
26	しまね産前・産後安心サポート事業	市町村における産前・産後の一時的な育児・家事援助や産後の専門的なケアの充実を支援	C	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産前・産後訪問サポート事業（訪問による家事・育児支援事業） 5市町が実施 ・訪問サポートの担い手養成研修 5会場で計37人修了 ・産後のケア事業 現在15市町申請済 ＜コロナの影響＞ ・市町村との意見交換時期の遅れにより、申請受付開始など実施に向けた調整も遅れている。 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村に対し、事業の理解のために再度意見交換を行う。 ・担い手確保のため、類似の事業を実施している事業者・団体などと協議していく。

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
27	保育士の確保・定着支援事業（保育士確保のための県内進学・就職促進（家賃貸付）事業）	保育環境の充実を図るため、保育士の確保・定着に向けた取組を推進	C	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成施設がない石見・隠岐地域等出身の学生向けの家賃相当額を貸与する支援制度を創設し、6月から募集開始、現在8件の申請受理 ・高校3年生が進学先を選択する際のインセンティブとなるよう、対象地域の高校への事業説明を実施 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成施設がオンライン授業対応となっており、学生に対し十分な周知が行えていない。 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成施設の学生に対し、個別に事業説明等を行い、制度の活用を促す。 ・県内の保育士養成施設に進学予定の高校3年生に対し、早期の貸付内定を実施
28	待機児童ゼロ化事業	年度途中の入所希望に対応するため、保育定員を増やして受入体制を拡充する私立保育所等を支援	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2市（松江市・出雲市）を補助採択し、R2年度から6施設・75人の定員が増加 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度途中で待機・潜在的待機児童が発生した市町村からの申請を随時受付
29	放課後児童クラブ支援事業	放課後児童クラブの利用時間延長や待機児童解消等に向けた支援を拡充し、子育てしやすい環境整備を推進	B	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月より新たな県単補助制度拡充（利用時間延長、受入れ拡大等） ・新たに放課後児童クラブスーパーバイザーを3名設置し、各地域の放課後児童クラブを訪問、助言 ・放課後児童支援員認定資格研修の開催場所、開催回数を大幅拡充（県内3か所3回⇒7か所10回） <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村訪問ができず、夏休みの利用延長支援など新事業・新制度に係る周知が十分にできなかった 等 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブスーパーバイザーと連携し、現場の実態・課題を把握した上で、より充実した環境整備に向け、取組のさらなる改善を図る。
30	子ども医療費助成制度	現行の「しまね結婚・子育て市町村交付金」のメニューに、小学6年生までの子ども医療費助成を追加し、子育て世帯の負担軽減を促進	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月からの制度実施に向けて、市町村と精算方法等について調整中 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月からの実施に向けて、交付要綱の策定、市町村への周知

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
31	みんなで子育て応援事業（こっころパスポートのデジタル化）	家庭、地域、団体、企業等が一体となり、県全体で子育てを支援	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル化に向けた仕様検討、提案競技（審査会）を実施し、契約業者決定済み <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> システム開発、協賛店等への広報の実施（訪問含む） 市町村担当者への説明、県民向け広報の実施（チラシ等）
32	結婚・出産・子育ての切れ目ない支援事業（「島根みんなで子育て応援賞」等）	結婚・出産・子育てに負担感や不安を抱えている多くの若い世代が、安心して妊娠・出産・子育てができるよう妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援体制を構築	A	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 島根みんなで子育て応援賞 <ul style="list-style-type: none"> 第1期（5/20～6/30）表彰済み（受賞者2名） 第2期（7/1～8/31）募集 知事からの「こっころメッセージ」贈呈 <ul style="list-style-type: none"> メッセージ等の仕様検討、提案競技（審査会）を実施し、契約業者決定済み <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根みんなで子育て応援賞の表彰（各圏域） 「こっころメッセージ」の贈呈
33	しまね長寿・子育て安心住宅リフォーム助成事業	既存一戸建て住宅のバリアフリー改修工事及び子育てリフォーム改修工事に要する経費の一部を助成	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月11日から申込の受付を開始、8月末時点で225件の申込を受付（うち、子育て改修158件） 実施広報：山陰中央新報（本紙面、りびえーる、しまねスマイルdays） 今後の広報：しまねゼミ（9/7） <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ等でのPRを続け、助成制度の更なる活用を図る。

III 地域を守り、のばす

1 中山間地域・離島の暮らしの確保

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
34	中山間地域総合対策推進事業（「小さな拠点づくり」モデル地区推進事業）	人口規模の小さい複数の公民館エリアが連携して「小さな拠点づくり」に取り組む地域をモデル地区に選定し、重点的に支援することでその姿を県民に示し、「小さな拠点づくり」の波及を推進	C	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度採択済のモデル地区（3地区）はいずれも事業着手済み ・生活支援サービス開始に向けたアンケート内容の決定や地区防災に関する視察先の選定など、各地区で具体的な取組に向けた議論を開始 ・現在、モデル地区の第2回公募中（2地区程度） <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区では年度早々にも具体的な取組の開始に向け、地域や市町村、関係機関との議論開始を予定していたが、後倒し ・第2回公募は8月末を締切としていたが、コロナにより地域と市町村との調整が停滞し、締切を10月末に延期 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県担当者の地域での議論の場に参加や市町村からヒアリングを実施などを通して、状況を把握しつつ、必要に応じた支援（視察先の調整や情報提供）を実施 ・第2回公募のモデル地区を決定予定

3 地域の経済的自立の促進

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
35	中山間地域総合対策推進事業（スモール・ビジネスの推進）	「小さな拠点づくり」の推進に加え、中山間地域・離島の豊かな自然環境や特徴ある資源を活用し、地域外から外貨を獲得する取組（スモール・ビジネス）を推進し、雇用の確保と所得向上を促進	A	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 専門家による相談支援 <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー派遣の申込は現時点で12件 2 スモール・ビジネス育成支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・スモール・ビジネス育成支援講座申込は、本土版は27件、隠岐版は7件（参加者は選考により決定） ・スモール・ビジネス育成支援補助金は、応募13件（うち採択7件、採択保留2件） <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部・西部・隠岐地域にて育成支援講座を実施
36	県産木材利用促進事業	県産木材の需要拡大を図るため、県産木材を積極的に使用した住宅建築等への支援や、県外・海外への販路拡大に向けての取組を支援	B	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築士104名、工務店85社を「しまねの木」活用建築士・工務店に認定（コロナにより認定方法を見直し） ・コロナの影響により、認定条件を講習会受講からレポート提出に見直し ・県産木材を利用した住宅助成の申込は現時点で70件 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月補正予算の民間木造建築促進緊急対策事業を活用し、非住宅建築物への県産木材の利用を特に強化

4 地域振興を支えるインフラの整備

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
37	浜田港の機能拡充	国際物流拠点としての機能を強化するため、港湾施設の整備を実施	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上屋（荷捌き倉庫）整備 新規の国補助の採択を受け、基本計画の策定に着手した。 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上屋（荷捌き倉庫）整備 令和3年度の建築工事の着手に向け、詳細設計を実施する。

IV 島根を創る人をふやす
1 島根を愛する人づくり

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
38	教育魅力化人づくり推進事業	学校と地域が協働して取り組む「教育の魅力化」を支援	A	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高校魅力化コンソーシアム先導モデル創出事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2市1町で5高校（松江東、雲南（三刀屋・大東）、津和野、松江農林）採択 ・ 現在、16のコンソーシアムが活動中 2 多世代対話型交流学習事業 <ul style="list-style-type: none"> ＜コロナの影響＞ ・ オンラインの活用や少人数での開催など開催方法を工夫して実施 3. 系統的・発展的ふるさと教育充実費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内全ての小中学校にキャリア・パスポートを導入済 ＜コロナの影響＞ ・ 運用、活用に関する集成型研修を5会場で実施予定であったが、自主研修に変更 ・ 自主研修についてはテキストを作成し、学校へ配布するとともに、各校の課題整理や実施手法等について県教委からのアドバイスを交え実施 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モデル創出事業について、運営の成果に関する知見を共有する研修会を実施（2月予定） ・ ふるさと教育の充実に向けた巡回指導を実施予定（現在、13校から依頼あり）
39	県内就職に向けた県内大学等との連携事業	県内大学と企業、県等がコンソーシアムを設立し、連携体制を強化することにより、県内学生の県内就職に向けた取組を支援	C	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 賛助団体（パートナー企業）募集 118社（8月末） ＜コロナの影響＞ ・ 大学と企業が連携して行う教育プログラムや学生と企業との交流会が予定どおり実施できていない。（一部は対面からオンラインに切り替えて実施） ・ 企業見学バスツアーの代替措置として、地域や人を知るオンライントークイベントを開催 ・ しまね学生インターンシップ（夏季）は規模を縮小し、41社のべ116人のマッチングを実施 <p>年間目標（夏季・冬季合わせて140社300人）の4割程度の進捗</p> <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ しまね大交流会はくにびきメッセでの開催を止め、オンラインで実施予定 ・ インターシップ推進委員会、プログラム開発委員会において、県内就職に有効な新たな手段を検討
40	私立学校生徒確保事業	島根で学ぶ生徒を増やすため、私立学校が行う生徒確保のための取組を支援	A	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高校等生徒授業料減免補助 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月より制度拡充実施（補助対象を高等学校等の就学支援金制度の加算対象外となる年収約590万円以上910万円未満の世帯にも拡充） ・ 4月から私立高校等により事業開始（7月から交付申請受付） 2 私立専修学校生徒確保支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月より制度拡充実施（県外生徒確保事業に加え、県内生徒確保事業についても補助対象経費に拡充） ・ 4月から私立専修学校により事業開始、交付申請受付（現在14校中10校から申請） <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月に交付決定予定

2 新しい人の流れづくり

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
41	ふるさと島根定住推進事業（東京拠点の機能強化、短期就業体験の提供）	ふるさと島根定住財団を中心に、市町村や関係団体と連携し、地域別、年代別、性別など属性に応じたUターン・Iターン施策を推進	C	<p>【現状】</p> <p>1 東京拠点の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 5/29に日比谷しまね館が開館し、ふるさと回帰支援センターには4月に相談窓口を設置 相談件数（8月末現在速報値）285件（日比谷しまね館 224件、ふるさと回帰支援センター 61件） 移住/関係人口セミナー（8月末現在）4回開催 計52人参加 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> 日比谷しまね館は開館が延期、ふるさと回帰支援センターは、4/15～5/26の間休館 移住/関係人口セミナーは、オンラインで実施 <p>2 短期就業体験の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月に制度を新設し、今年度は3市町が活用意向あり。 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <p>1 東京拠点の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京拠点については、引き続き、きめ細かな移住相談に取り組むとともに、移住/関係人口セミナーを開催していく。 <p>2 短期就業体験の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 短期就業体験については、市町村へ活用を呼びかけていく。
42	若年者雇用対策事業	若年者の県内企業への就職及び職業的自立を促進	B	<p>【現状】</p> <p>1～3 企業と連携した教育プログラム、学生就職アドバイザー、UIターン志望学生の就職活動応援</p> <ul style="list-style-type: none"> 県外大学と連携した低学年向け企業交流会等を実施する学生就職アドバイザーを昨年12月から大阪・広島に1名ずつ配置 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> 大学と企業が連携して行う教育プログラムや学生と企業との交流会が予定どおり実施できていない。（一部は対面からオンラインに切り替えて実施） 県内企業が行う面接会等に参加する際の交通費助成は、コロナの影響により学生の移動が制限されており助成件数は少ない。 <p>4 しまね女子回帰・定着促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学生等の卒業におけるUIターン就職を支援するため、県外在住の女子大学生と県内企業を結びつける女子就職フェアを大阪と広島の2会場で実施 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪会場（12月）はオンラインで実施予定（広島会場（2月）は当初予定どおり対面で開催予定） <p>5 県内企業の魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 女子学生が受託企業とともに企業訪問、取材、動画作成を実施中 <p>6 「しまねアプリ（仮称）」開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「しまね学生登録」の登録者に、新たにスマートフォンの既存アプリを活用して就職情報等を届けるために必要な情報システムを構築する。 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナによる学生の活動制限の緩和状況等を踏まえながら、支援方法を検討 県内企業の魅力発信のため、10月中旬に動画配信予定

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
43	しまねの魅力広報事業	島根の自然の豊かさや古き良き文化・歴史などのしまねの「魅力」や暮らし方が、多くの人びとを惹きつけ、島根に関心を持ってもらえるよう、国内外に向けた情報発信を強化	C	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 しまねの魅力の戦略的な発信 <ul style="list-style-type: none"> ・島根の人と暮らしをテーマとした動画制作については、7月から取材先の選定を開始 <コロナの影響> ・当課のコロナ対応や、取材申し入れが難しい状況にあったため、制作開始が予定より遅れている。 2 日比谷しまね館を活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・もともと下期にイベントを予定 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 しまねの魅力の戦略的な発信 <ul style="list-style-type: none"> ・10月上旬頃に1本目を公開予定（当初の想定では年度内に6本制作予定） 2 日比谷しまね館を活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・トークイベントを2月に予定 ・コロナ拡大の状況に応じて、オンラインによる実施を検討

3 女性活躍の推進

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
44	しまね女性活躍推進事業	女性一人ひとりが、本人の希望に応じ、個性や能力を発揮しながら活躍できる環境を整備	B	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 起業セミナー <ul style="list-style-type: none"> <コロナの影響> ・上期に予定していたセミナーを下期で実施予定 2 一般事業主行動計画の策定支援事業（アドバイザー派遣） <ul style="list-style-type: none"> <コロナの影響> ・企業への派遣が敬遠されたこと、商工団体が多忙であったため4月予定を6月にずらしアドバイザー派遣を開始 3 女性活躍のための働きやすい環境整備支援事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・5月より第1回補助金募集開始（締切7月22日）（申請17件） ・8月より第2回補助金募集開始（締切9月30日） <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業セミナーについて実施予定（オンラインへの切り替えも含め検討） ・女性活躍のための働きやすい環境整備支援事業費補助金について、第2回の交付決定を10月末に予定
45	仕事と子育ての両立支援事業（育児手帳、家事手帳、イクメン推進）	仕事と子育てを両立できる社会を目指した取組を推進	B	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により、官民連携の検討会議の開催時期が7月となり、現在、「育児手帳」「家事手帳」「イクメン啓発ポスター」等の内容、スケジュール等を検討中 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「育児手帳」「家事手帳」作成委託業務公募型プロポーザルを10月に実施し、2月に完成、市町村へ配布予定 ・「イクメン啓発ポスター」について、10月以降にキャッチコピーを募集し、3月中にポスター完成、企業や関係機関等に配布予定 ・「イクメン応援サイト」について、2月以降「育児手帳」「家事手帳」の電子版を掲載予定

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
46	男性のための介護のミニ講座	男性の介護への参加促進や、介護に携わる職員が働き続けやすい職場づくりを推進するため、男性のための介護のミニ講座を実施	C	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：R2.11～R3.3で調整予定 ・内容：介護に関する基礎知識と演習に重点をおき実施予定（演習の際に参加者間の接触も多くなるため実施方法は検討） ・対象者：R2は県職員を対象に実施の予定 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施に向けた調整が予定より遅れている。 ・内容と対象者の縮小及び実施方法を現在関係者と調整中
47	仕事と子育て両立環境促進事業（子育てしやすい職場づくり奨励金）	出産後の復職支援や子育てしやすい職場づくりに取り組む中小・小規模事業者等を支援し、従業員が出産後も離職することなく仕事と育児を両立して働き続けることができる職場環境整備を促進	C	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月 山陰中央新報全面広告により周知 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新しい生活様式」に対応するため、奨励金を2倍に増額（6月補正） ・子育てしやすい職場環境づくりに取り組む事業者を増やすため、支給要件等を緩和 ・上記制度見直しに伴う商工団体との調整により事業進捗に遅れ <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月 山陰中央新報全面広告により周知 10月 山陰中央新報全面広告により周知、ちらしの再配布による周知
48	高年齢者・女性の雇用・就業促進事業（女性就労ワンストップ支援体制整備事業）	県内企業等で就労を目指す女性の就職相談窓口を設置し、女性のニーズを踏まえた多様な働き方を支援	B	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月より相談員を1名増員（東部2名、西部1→2名） ・出張相談会の実施（8月4回実施） <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー、職場体験等は予定をずらし、下期で実施 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口の感染予防対策をしながら実施 ・セミナー（企業向け・女性向け）、職場体験、出張相談会を順次開催予定

V 健やかな暮らしを支える

1 保健・医療・介護の充実

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
49	地域医療を支える医師確保養成対策事業	医療介護総合確保促進基金を活用し、医療従事者の確保対策等の取組を推進	B	<p>【現状】</p> <p>1 地域医療支援センター運営事業</p> <p>①しまねレジデントフェス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月以降に実施予定 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他事業においても、当面、医師が直接集合する形での研修や会議はとりやめオンラインで実施しており、実施方法を検討中 <p>②指導医講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回開催予定 ・1回目は9月7日、18日、19日に開催予定（24名参加予定） ・2回目は2月に開催予定 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全Webで開催予定（指導医講習会の完全Web開催は全国初） <p>2 医師確保計画推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から事業承認申請の募集開始（現在9件） ・8月中に事業承認、9月中に交付決定予定 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請期限を5月末から6月末へ延長
50	しまね健康寿命延伸プロジェクト事業	健康寿命のさらなる延伸を図るため、県民自らが健康づくりに取り組めるような環境整備を推進	C	<p>【現状】</p> <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対応優先のため執行を繰り延べしていたものの、8月に知事をトップとする「しまね健康寿命延伸プロジェクト推進本部会議」を立ち上げ ・8月末に「健康長寿しまね推進会議」を開催し、知事の「しまね健康寿命延伸取組宣言」予定であったが、クラスター発生の影響により10月に延期 ・健康寿命延伸強化事業のうち、地域住民に対する対面による調査活動の実施は難しいため、R3年に延期

2 地域共生社会の実現

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
51	くにびき学園運営事業	高齢者が生きがいを持って地域活動の担い手として活躍できるように、高齢者の学びの場の充実を図るとともに、高齢者と地域活動を繋ぐ取組を支援	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動等の人材養成の重点化を図るカリキュラムの見直しを実施（4月1日から申込受付を開始） ・地域組織と連携を強化するため、コーディネーターを東部校・西部校に各1名配置 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講希望者を対象とした学園説明会を4、5月は実施できなかった。 ・受講生の募集期間も6月末から7月末に延長 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月1日に東部校、9月4日に西部校が開講 ・受講者数は、東部校が37名（定員50名）、西部校が19名（定員25名）
52	発達障がい者支援体制整備事業	ライフステージに応じた発達障がい者の支援を行うため、発達障害者支援センターを中心として対策を実施	C	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月より心理士1名を東部発達障害者支援センターに配置し、島根大学附属病院等との初診連携に向けた調整及び試行を開始 <p><コロナの影響></p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討協議の延期又はオンライン化 ・ケース連携の試行開始時期の遅れ（6月開始予定→8月開始） ・相談窓口の設置場所を院外に変更し、9月から初診前相談を本格実施 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出雲市教育委員会とのケース連携の開始により、主な相談経路を完成させ、事業効果の測定と分析を開始
53	子どもと家庭の相談事業（学校等連絡支援員の配置）	児童及び児童のいる家庭が身近なところで相談できる体制を整備	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所と学校との相互理解を深め、連携を強化するため、学校等連携支援員（教員OB）1名を中央児童相談所に配置（4月）した。 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内の学校等に対し、広く周知を図り、学校との連携強化に努めていく。

VI 心豊かな社会をつくる

1 教育の充実

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
54	インクルーシブ教育システム構築事業（盲学校幼稚部設置準備事業）	障がいのある児童生徒に連続性のある多様な学びの場を提供	A	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の盲学校「幼稚部」設置に向け、幼児の受入試行を行い、教育内容、教材教具、指導体制等について課題を検証 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月 幼稚部入学に係る該当市町村との情報共有 12月 市町村への幼稚部設置に係る周知

3 人権の尊重と相互理解の促進

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
55	外国人の受入れ・共生事業	外国人住民が安心して暮らすことができる生活環境づくり、外国人住民と地域住民が共に支え合う地域づくり等を推進	A	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 外国人住民の生活や日本語学習の支援 <ul style="list-style-type: none"> 4月からワンストップ型相談窓口のポルトガル語対応の相談員を2名に増員 6月から外国人相談対応における専門家との連携を開始 就学・進学状況の調査 <ul style="list-style-type: none"> 中学校生徒・保護者向け公立高校入学のガイドブック及び進路に関するアンケートを3か国語で作成 アンケート調査実施に向けた市町村教委、関係団体との調整（出雲市教委との打ち合わせ） <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 外国人住民の生活や日本語学習の支援 <ul style="list-style-type: none"> 外国人住民への情報発信強化に向け、SNSによる情報伝達方式の構築作業を実施 就学・進学状況の調査 <ul style="list-style-type: none"> 他県の先進校視察や外国人等生徒のための特別な措置の検討

VIII 安全安心な暮らしを守る

1 防災対策の推進

No.	事業名	事業の概要	進捗区分	進捗状況（令和2年度上期）
56	震災・風水害等災害対策事業（防災士資格の取得支援）	地域防災計画等の実効性を高めるため、市町村や地域住民と一体的に災害に備えた対策を実施	B	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災士養成講座を5月より受講者募集、8月開催で予定していたが、新型コロナウイルス感染症により、開催時期を下期に延期 <p>【今後の取組（令和2年度下期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 延期した防災士養成講座開催のため、講師、会場等を再調整中